

# 第 1 1 回佐倉市立保育園等の在り方検討会

## 会議次第

日時 平成 2 2 年 1 1 月 1 8 日 (木)

午後 2 時から

於 佐倉市役所 議会棟 第 4 委員会室

### 1 . 開会

( 1 ) 健康こども部長 挨拶

( 2 ) 佐倉市立保育園等の在り方検討会会長 挨拶

### 2 . 議題

( 1 ) 第 1 0 回議論の整理

( 2 ) 提言書について

( 3 ) その他

### 3 . 閉会

---

#### 資 料

- 1 第 1 0 回 ( 前回 ) 議論の整理
- 2 佐倉市立保育園等の在り方検討会提言書 ( 案 ) < 非公開 >
- 3 提言 ( 案 ) 前回からの変更点 < 非公開 >
- 4 提言 ( 案 ) に対する委員意見 < 非公開 >

## 議題（1） 第10回（前回）議論の整理

**（1）第10回議論の整理****（2）児童センター・学童保育所の在り方について**

## 【学童保育の保護者費用負担について】

費用負担について、委員意見だけが載っているが、提言としないのか。保育園だと公立民間で金額同じだが、学童は行くところによって違うのはいかがか。また、金額も6千円でいいのか。上げろ、下げろではないが、検討する必要があるのではないか。保護者にとっては一番切実な観点だ。

親が帰ってくるまで安全に守るというところでは公立も民間もない。せめて「保護者負担について検討する」程度は提言に入れてもよいのではないか。公立民間で、やらなければならないカリキュラムの部分は共通の料金で、それ以上のことを民間でという部分は、親の合意で上乘せしても良いのではないか。

**（3）保育園・児童センター・学童保育所についての総括議論**

## 【職員配置について】

正規職員と臨時職員の割合の出し方について、普通は、正規職員の代替え人員は除いて非常勤の人数を出す。本来は正規職員がいるのだから。

数字だけ見ると、臨時職員比率が異常な状態に思える。説明を入れる等の措置が必要ではないか。

## 【専門職の将来について】

佐倉市は職員を減らし、給与も減らしている。養成学校を卒業して保育士と幼稚園教諭の2つの資格を取った人が、就職口がみつからず、時給の臨時保育士になるという状況を市が作っている。せっかく意志をもってやろうとしている若者たちであり、専門職が才能を活かせるようにするのがよいと考えるが。コスト削減の努力は認めるが、長期的に見ると専門職が安心して就労することができる社会にはならない。

20年くらい先を見て、今後の公立は、重複障害や虐待を担えるぐらいの専門性を育てて、きちんとつながって行くようにやっていただきたい。

## 【民営化について】

株式会社の保育園を見学したら、マニュアルどおりにやっているということで言葉は丁寧だが、心が入っていない。笑顔も不自然で、子どもが経験しなければなら

## 【資料1】

いことよりも、外部に対して見栄えがいいというような方向に行ってしまうている。株式会社は利益を追求するということが出てくる。私立でも子どもの本来の姿を見ているところもあり、すべて悪いとは言わないが。

そのような保育園は、おそらく第三者評価をすると高い点がつく。そこを意識したマニュアルがある。

マニュアル化は高齢者やグループホームでも進んでいるが、子どもを育てる重要なところがそれだと困る。行政機関はどう指導をできるか。民営化して任せきりではなく、指導したり、確認したり、保育の質を評価したりという役割も求められる。

どういう人がどのように評価をするかが問題。第三者評価では、評価者を評価するぐらいの専門性をきちんと持っていなければならない。

経営が優先されがちになると、子育て・子育てがどこまで担保されるか心配である。エムケイグループのように、本体がつぶれたら子どもたちはどうなるのかという危険がある。

千葉県でも東葛地区等では民営化はだいぶ前から実施しており、5年前ならわかるがこのタイミングで検討をするのはどうしてか。平成25年から制度がどうなるかという状況であり、いかがかと思うが。

### (4) その他

#### 【子ども・子育て新システムについて】

(事務局説明) すべてにおいて検討中。新しい情報は特になし。

平成25年にどうなっていくか、これから検討がなされるが、方向性として大きくは多様化ということはあると思う。昭和のころのように公立保育園が建つ時代ではなく、すべての母親たちにサービスを提供する時代。財源がどう下りてくるかはっきりしていないが、なんらかの形で地方に財源は来ると思う。

働く母親の支援から、子育て全般まで包括的なものとなる。これだけのことをまとめて議論したことはこれまでなく、戦後初めての大転換。視野に入れて検討しなければ。

#### 【今後の進め方について】

統計資料にも脚注を付けるなどして、わかっている人だけがわかるのではなく、一般の市民が検討の報告書を読むときに分かる形で出したい。